



## 第3回定例会開催

9月17日(木)から10月19日(月)までの1か月以上に渡り、平成27年第3回定例議会が開催されました。今回は初めての一般質問を行いました。通告した質問内容は次の通りです。

### 1 市職員の人事について

- (1) 職員アンケート
- (2) 職員の適正配置と人事異動
- (3) 人事評価制度

### 2 町内会及び自治会の運営について

- (1) 町内会の役割と維持存続
- (2) 地域担当職員制度

### 3 即時性のある広報について

- (1) SNSを使った広報の必要性

大項目2の「町内会及び自治会の運営について」では、町内会の役割と維持、存続について伺いました。千歳市には、現在、148の町内会と自治会が存在していますが、高齢者宅の除雪支援や災害時の避難者支援など、地域コミュニティーのセーフティーネットを担う立場として、年々その要請は大きくなってきています。

中心街や古くから形成された住宅地と、新興住宅地を比較しますと、地区ごとの平均年齢も、20代から70代までというふうに幅広く、居住者数も違えば、単会ごとの運営規模や活

動内容の差も大きく、町内会としてのサービスレベルにも、大きな格差が生じ始めており、役員の高齢化や後継者不足に悩む単会においては、役員の死去や病気などによる欠員に伴い、複数の役職を兼務したり、活動規模の縮小を余儀なくされるなど、多かれ少なかれ運営に支障が出始めています。



町内会や自治会は、あくまでも任意団体であり、入会や脱退に関しては強制することができないことから、近い将来には解散もやむなしとの悲観的な声もささやかれますが、近隣とのつき合いも、ますます希薄になっていく時代背景の中、今後、町内会や自治会が、行政を補完して果たすべき役割とは何か、その存在意義も含め、改めて定義する時期に来ているものと感じ、市の認識を問いました。

#### ◎市長の答弁要旨

町内会等は、快適で住みよいまちづくりを進める目的で、住民が主体的に組織し、自立的に活動している任意の団体であり、それぞれの自主性を発揮し特性に合わせた活動が望ましいと考えている。

市では、町内会等が、地域における福祉活動、防犯や防災対策、ごみ処理、除排雪対策など、行政や家族などの力だけでは解決の難しい、生活に密着したさまざまな問題に取り組み、地域自治の推進や地域福祉の向上を図る上で、大変に重要な役割を担っていただいていることから、市民協働のまちづくりを進めていく上で欠かせない、行政の大切なパートナーであると考えている。

次に、高齢化社会の進展に伴い、町内会の運営や役員の確保等、各単会の抱える課題や悩みは徐々にふえていく傾向にあると考えられ、このような問題を解決するためには、単会同士が知恵を出し合い、相互に補完す

る仕組みが有効であると考え、単会の役員が定期的集まることのできる情報交換の場、あるいは、インターネットなどを利用したコミュニティーサイト等を市が整備することはできないのか尋ねました。

#### ◎市長の答弁要旨

各町内会同士の情報交換の場の創出について、町内会連合会では、町内会長研修会、総務部長等連絡会議を初め、各部長を対象とした研修会など、町内会等の各役員が参集するさまざまな機会を設けている。今後も、それらの機会がより充実するよう、よく町内会連合会と意見交換をしていく。

町内会連合会では、町内会等の加入率向上の取り組みの強化のため、加入促進ポスターやパンフレットを作成し活用しているほか、現在、町内会連合会のホームページ作成を進めていると伺っていることから、ホームページを活用した情報交換の場の設置について、町内会連合会と連携し、調査研究をしていく。

次に2-(2)地域担当職員制度について伺いました。次年度からお隣の恵庭市が、地域担当職員制度を導入します。この制度は、弱体化する地域コミュニティーの機能を補うための職員を配置し、行政と地域が協働でまちづくりを進める試みであり、平成25年4月現在の調査では、北海道内の64自治体で既に取り組みが始まっています。

そこで千歳市も、前述のような将来への不安が生じつつある中、同様の制度を構築すべき時期に来ているものと考え、みんなで進める千歳のまちづくり条例の精神にのっとり、同様の制度を、市民協働の取り組みとしてスタートさせることはできないのかお聞きしました。

#### ◎市長の答弁要旨

市が目指す市民協働とは、行政のみならず、市民や団体などの多様な主体によるまちづくりを目指すものであり、市民活動や町内会活動の自主性を尊重し、市民主体のまちづくりを進めることである。このことから、現時点で、地域担当職員制度の導入については考えていないが、今後とも、地域課題の把握や町内会活動の充実に努めていく。

私自身が町内会長を務めており、役員の高齢化となり手不足に悩んでいる一人です。町内会は防犯灯の整備やゴミステーションの設置、子どもの登下校や高齢単身者の見守りなど多くの自治機能を担いながらボランティアで運営している組織です。市長は町内会を行政の大切なパートナーであると言いながら、一方で「住民が主体的に組織し自主的に活動している任意団体」と一刀両断していることは残念でもあります。任意団体だからといって町内会が解散してしまえば、その機能はすべて行政が担わなければなりません。町内会支援を行っている自治体はそこに気づいているから先に手を打っているのですが、千歳市はそこまでの認識と覚悟があるのかはなはだ疑問です。この点についてはさらに追求していきたいと思えます。

**市政に対するあなたの思い、地域活性化のアイデアを是非お聞かせください。**

メール：[mail@kitayama-keita.com](mailto:mail@kitayama-keita.com)

ホームページ：<http://kitayama-keita.com>



「北山けいた後援会」では、物心両面から活動を支援してくださる方、また私の考えに賛同して一緒に行動していただける方を広く募集しております。もちろん千歳市民でなくても結構です。

お問い合わせは上記のメールからお願い致します。

**ちとせみらい通信は私の想いを届けるかわら版です。**